

大阪府損害保険防犯対策協議会総会を開催

～損害保険事業の健全な発展のため、損保業界と関係機関が連携することの重要性を確認～

日本損害保険協会近畿支部委員会(委員長：東口 嘉仁・三井住友海上火災保険株式会社執行役員・関西地区担当)では、10 月 22 日(水)大阪市内で、令和 7 年度大阪府損害保険防犯対策協議会総会を開催し、来賓・顧問・会員など 60 名の出席がありました。

総会開会に際し、大阪府損害保険防犯対策協議会の 東口 嘉仁 会長(同協議会会長は当協会近畿支部委員長が兼務)から、関係各位の連携・協力により 47 回目の総会が開催できたことへの謝辞とともに、「年に一度、保険金詐欺や不当請求は断じて許さないという基本理念を確認し本協議会の実効性を高めていきたい」との挨拶がありました。

来賓の財務省近畿財務局 理財部金融監督第四課 谷川 幸司 課長の挨拶では、サイバー攻撃や SNS 型投資詐欺といった特殊詐欺が社会の新たな脅威となっている中、損保業界においては引き続き警察等関係各所と連携して、こうした被害から国民を守るための対策を推進してほしい旨の話があったほか、大阪弁護士会 黒田 清行 副会長、一般社団法人 大阪府医師会 永濱 要 理事、一般社団法人 大阪損害保険代理業協会 新谷 香代子 会長からも本協議会との緊密な連携関係を持続していきたい旨、挨拶がありました。

また、当協議会顧問の大阪府警察本部 刑事部捜査第四課 山内 祐吾 暴力団対策室長から最近の暴力団情勢、同生活安全部府民安全対策課 中井 敦英 防犯担当管理官から府内の自動車関連犯罪の発生状況、同交通部交通捜査課 松下 直吉 計画・指導担当管理官から府内の交通事故発生状況を交えて、それぞれ挨拶がありました。続いて、当協議会の 明石 幹事(損保ジャパン社)から、令和 6 年度の活動報告および令和 7 年度の活動計画の提案があり、令和 7 年度も保険金詐欺が疑われる事案や、保険金の不正・不当な請求に関与する業者等の情報交換と対策等に取り組むことが満場一致で承認されました。

その後、当協議会の 八田 副会長(損保ジャパン社)により「損害保険事業の社会公共性に鑑み、警察との緊密な連携のもとにあらゆる暴力や犯罪を排除し、事業の健全な発展をはかる」旨の決意文が力強く読み上げられ、鈴木 副会長(三井住友海上社)の「社会公共性の高い損害保険事業の健全な発展のため、警察や関係団体とも連携して保険金犯罪の根源を断ち切るべく様々な対策に全力で取り組んでいく」旨の挨拶で第一部を終了しました。

第二部の講演では、大阪府警察本部 刑事部捜査第四課の 内方 宗一郎 暴力団排除対策担当係長から「反社会的勢力の情勢を踏まえた対策について」と題して、最近の暴力団情勢や匿名流動型犯罪グループの動向等について、暴対法制定に至る経緯や暴力団による凶悪犯罪の事例、犯人検挙現場の生々しい状況等の解説を交えながら講話をいただきました。

当支部では、警察をはじめ関係諸機関・団体と連携し、民事介入暴力対策および不当不正請求対策を進め、健全な損害保険事業の運営を行うため、各府県に協議会を設置しています。

なお、総会の概要は次のとおりです。

令和7年度 大阪府損害保険防犯対策協議会総会 式次第

第1部 総会

1. 開式の辞

2. 来賓・顧問紹介

3. 来賓挨拶 財務省近畿財務局 理財部 金融監督第四課長 谷川 幸司 様

大阪弁護士会 副会長 黒田 清行 様

一般社団法人 大阪府医師会 理事 永濱 要 様

一般社団法人 大阪損害保険代理業協会 会長 新谷 香代子 様

4. 顧問挨拶 大阪府警察本部 刑事部捜査第四課 暴力団対策室長 山内 祐吾 様

大阪府警察本部 生活安全部府民安全対策課 防犯担当管理官 中井 敦英 様

大阪府警察本部 交通部交通捜査課 計画・指導担当管理官 松下 直吉 様

5. 令和6年度活動報告・令和7年度活動計画（案）

6. 決意文採択

7. 閉会の辞

第2部 講演 大阪府警察本部 刑事部捜査第四課 暴力団排除対策担当係長 内方 宗一郎 様



会場の様子



開会挨拶をする東口会長
(三井住友海上社)



活動報告を行う明石幹事
(損保ジャパン社)



決意文を読み上げる八田副会長
(損保ジャパン社)



閉会挨拶をする鈴木副会長
(三井住友海上社)



講演を行う内方氏
(大阪府警察本部刑事部捜査第四課)